

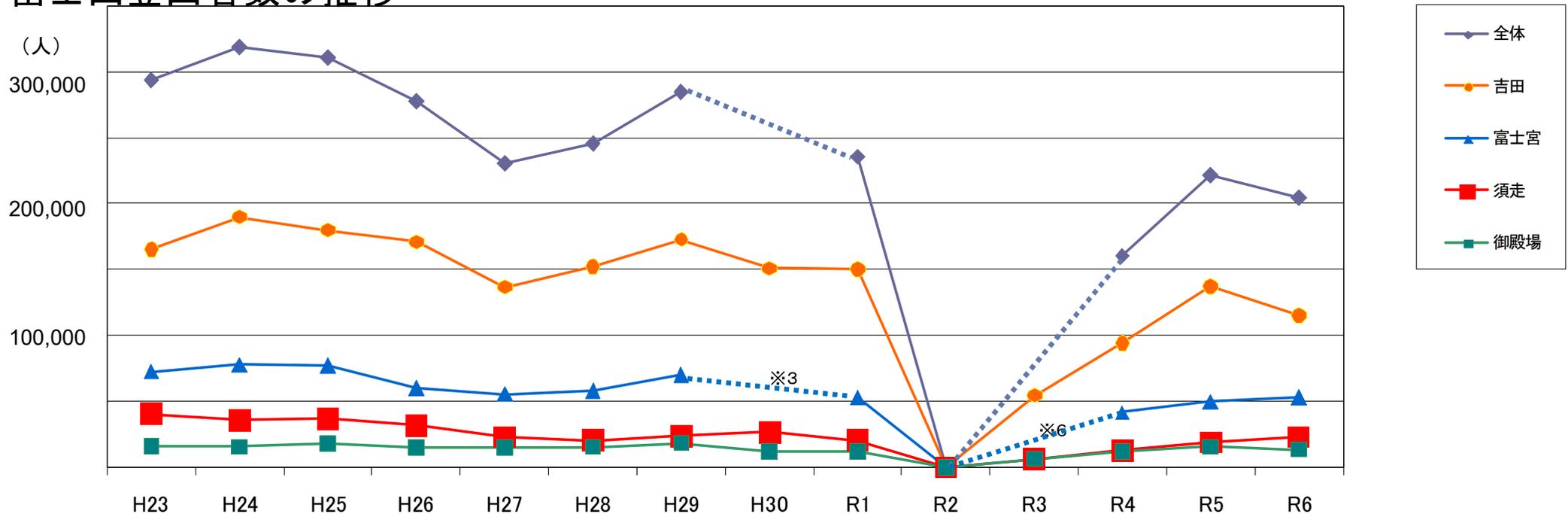
# 今夏の富士山の状況 (令和6年度)

■ 登山者の推移	
1 富士山登山者数の推移	1
2 登山者の動向	2
3 各登山道における日別登山者数	3
4 時間帯別の登山者数	6
5 遭難救助の発生状況	7
■ 今夏の主な取組	
1 登山者の安全対策・マナー啓発	8
2 マイカー規制の状況	9
3 混雑回避（登山者の平準化）の取組について	10
■ 現行指標・水準を達成するための取組の評価・検証について	12
■ 富士山保全協力金の受入状況	13

# 登山者数の推移

## 1 富士山登山者数の推移

(環境省関東地方環境事務所発表資料を基に作成)



区分	コロナ前(単位:人)									コロナ後(単位:人)					R6/R5 (%)	R6/R1 (%)
	H23※1	H24※1	H25※1	H26※1,2	H27	H28	H29	H30※3	R1※4	R2※5	R3※6	R4※7	R5	R6※8		
合計	293,416	318,565	310,721	277,494	230,348	245,675	284,862	208,161	235,646	—	78,548	160,145	221,322	204,316	92.3	86.7
吉田口	165,038	189,771	179,720	170,947	136,587	151,969	172,657	150,845	149,969	—	54,392	93,962	137,236	114,857	83.7	76.6
富士宮口	72,441	77,755	76,784	59,771	55,516	58,090	70,319	(18,828)	53,232	—	(11,409)	41,549	49,545	53,218	107.4	100.0
須走口	40,179	35,577	36,508	31,626	23,122	20,277	23,475	26,696	20,215	—	6,411	12,621	19,062	22,830	119.8	112.9
御殿場口	15,758	15,462	17,709	15,150	15,123	15,339	18,411	11,792	12,230	—	6,336	12,013	15,479	13,411	86.6	109.7

※1 平成23～25年は7/1～8/31、平成26～27年は吉田口(7/1～9/14)、富士宮口・須走口・御殿場口(7/10～9/10)、平成28年以降は吉田口(7/1～9/10)、富士宮口・須走口・御殿場口(7/10～9/10) ※2 平成26年は、雪のため御殿場口では7/10に六合目まで開通(全線開通7/18)、富士宮口では7/10に八合目まで開通(全線開通7/18) ※3 平成30年は、富士宮口でカウンターの不具合による欠測期間(8/14～9/10)あり ※4 令和元年は、吉田口で山頂付近の崩落により、7/1に八合五勺まで開通(全線開通は7/19 15時) ※5 令和2年は、閉山のため登山者はなし。 ※6 令和3年は、富士宮口及び御殿場口でカウンターの不具合による欠測期間(富士宮口7/10～8/3、御殿場口7/13～9/6中の9日)あり ※7 令和4年は、御殿場口でカウンターの不具合による欠測期間(8/12～19の4日)あり、須走口でも欠測期間(7/10～14)あり ※8 令和6年はカウンターの不具合により御殿場口(7/17、8/6-7、20-25、28、9/3-4)で欠測あり

## 2 登山者の動向

(環境省関東地方環境事務所発表資料を基に作成)

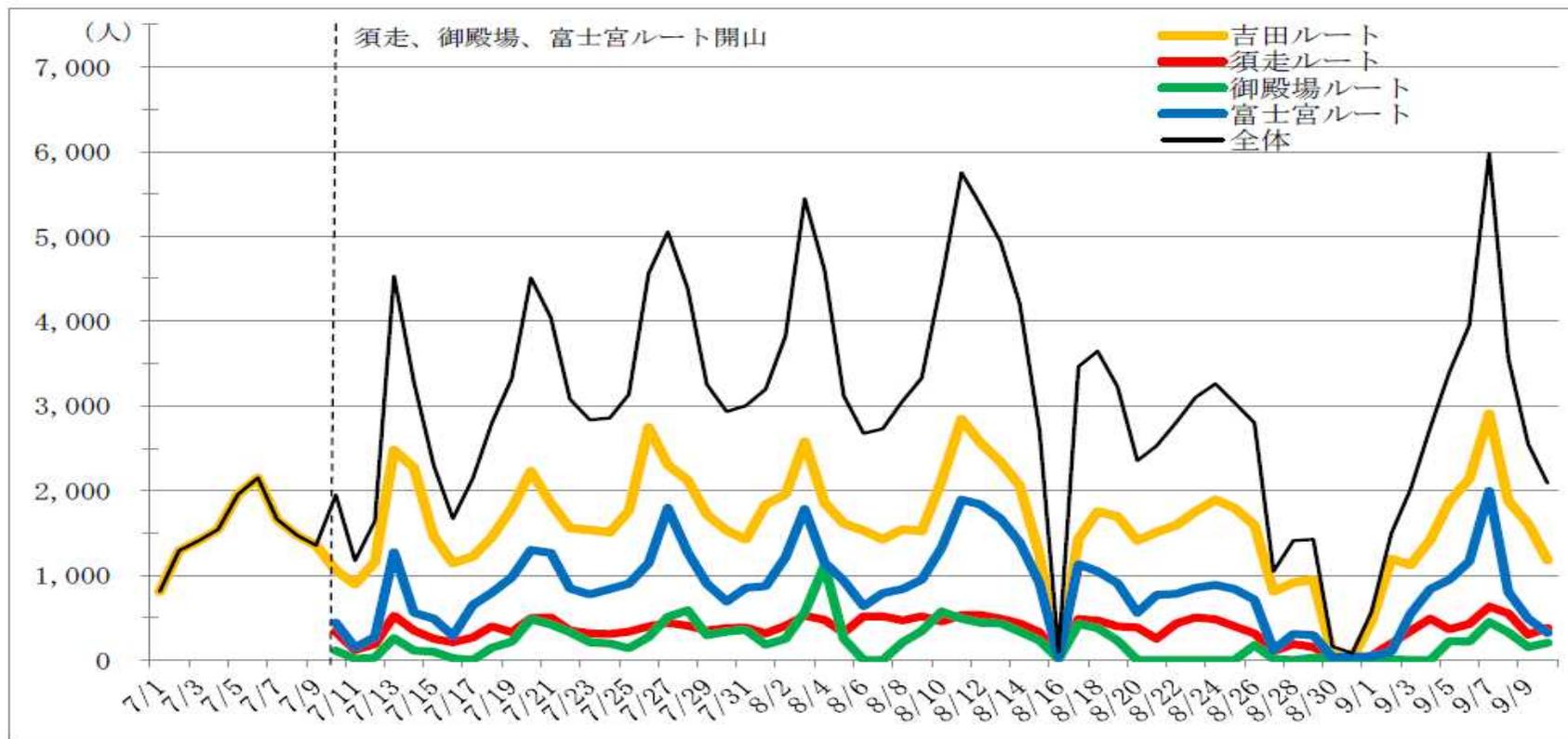
区分		合計	R1年比	最大値	(日付)	平日平均	土日祝日平均	(平日比)	
吉田口	コロナ前	R1	149,969人	(100%)	5,033人	8/11(日)	1,746人	2,848人	(163%)
	コロナ後	R3	54,392人	36.3%	2,611人	8/28(土)	646人	1,039人	(161%)
		R4	93,962人	62.7%	2,994人	9/3(土)	1,060人	1,827人	(172%)
		R5	137,236人	91.5%	3,974人	7/16(日)	1,581人	2,848人	(180%)
		R6	114,857人	76.6%	2,905人	9/7(土)	1,445人	1,938人	(134%)
富士宮口	コロナ前	R1	53,232人	(100%)	2,272人	8/11(日)	636人	1,294人	(203%)
	コロナ後	R3	—	—	1,240人	8/28(土)	132人	227人	(172%)
		R4	41,549人	78.1%	1,887人	7/30(土)	483人	1,039人	(215%)
		R5	49,545人	93.1%	1,860人	7/16(日)	579人	1,294人	(223%)
		R6	53,218人	100.0%	1,993人	9/7(土)	709人	1,136人	(160%)
須走口	コロナ前	R1	20,215人	(100%)	1,021人	8/11(日)	257人	496人	(193%)
	コロナ後	R3	6,411人	31.7%	385人	7/23(金)	73人	131人	(179%)
		R4	12,621人	62.4%	673人	9/4(日)	149人	350人	(235%)
		R5	19,062人	94.3%	599人	7/16(日)	253人	496人	(196%)
		R6	22,830人	112.9%	631人	9/7(土)	332人	428人	(129%)
御殿場口	コロナ前	R1	12,230人	(100%)	791人	8/4(日)	160人	285人	(178%)
	コロナ後	R3	6,336人	51.8%	383人	7/23(金)	132人	227人	(172%)
		R4	12,013人	98.2%	933人	8/7(日)	130人	337人	(259%)
		R5	15,479人	126.6%	1,011人	8/6(日)	170人	285人	(168%)
		R6	13,411人	109.7%	1,116人	8/4(日)	187人	402人	(215%)
全体	コロナ前	R1	235,646人	(100%)	8,743人	8/11(日)	2,787人	4,923人	(177%)
	コロナ後	R3	—	—	4,583人	8/28(土)	917人	1,544人	(168%)
		R4	160,145人	68.0%	5,381人	9/3(土)	1,720人	3,298人	(192%)
		R5	221,322人	93.9%	7,221人	7/16(日)	2,583人	4,923人	(191%)
		R6	204,316人	86.7%	5,977人	9/7(土)	2,673人	3,904人	(146%)

※1 令和2年度は登山道閉鎖に伴い計測していない。

※2 「—」は、データ欠測日があるため、計上していない。

### 3 各登山道における日別登山者数（R6年度）

環境省関東地方環境事務所報道発表資料より



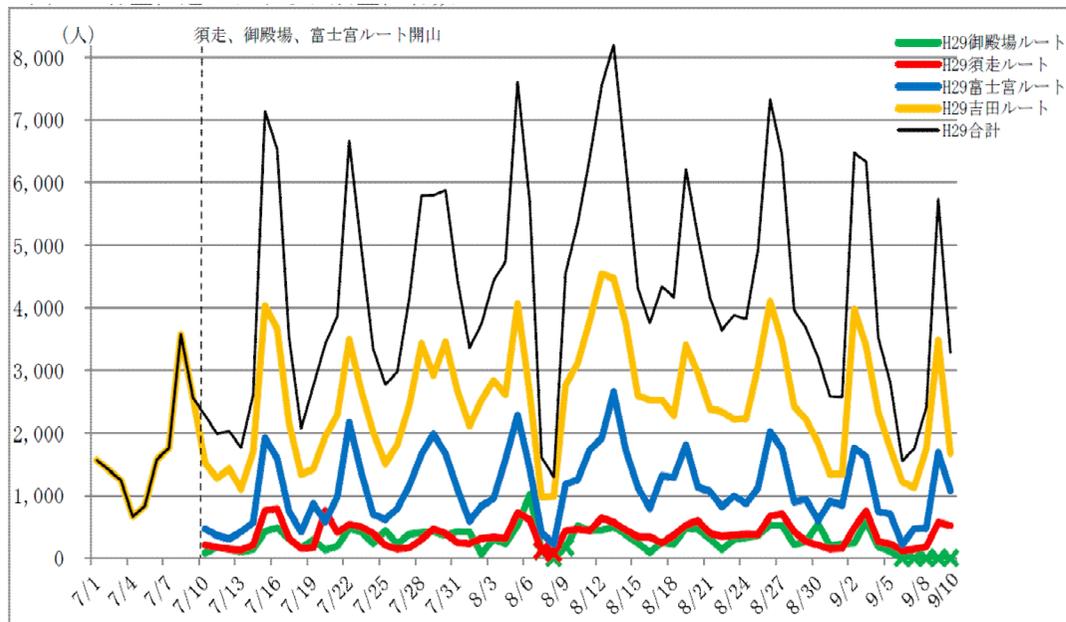
※8/16 台風7号の日本接近に伴う荒天の影響で登山者数が大幅に減少

※8/30～9/1 台風10号の日本接近に伴う荒天の影響で登山者数が大幅に減少

区分	1位		2位		3位		4位		5位	
	日付	登山者数	日付	登山者数	日付	登山者数	日付	登山者数	日付	登山者数
吉田口	9/7(土)	2,905	8/11(日)	2,842	7/26(金)	2,747	8/3(土)	2,579	8/12(月)	2,564
富士宮口	9/7(土)	1,993	8/11(日)	1,891	8/12(月)	1,835	7/27(土)	1,795	8/3(土)	1,777
須走口	9/7(土)	631	9/8(日)	554	8/12(月)	531	8/11(日)	529	8/3(土)	526
御殿場口	8/4(日)	1,116	7/28(日)	584	8/10(土)	573	8/3(土)	565	7/27(土)	513
全体	9/7(土)	5,977	8/11(日)	5,754	8/3(土)	5,447	8/12(月)	5,370	7/27(土)	5,054

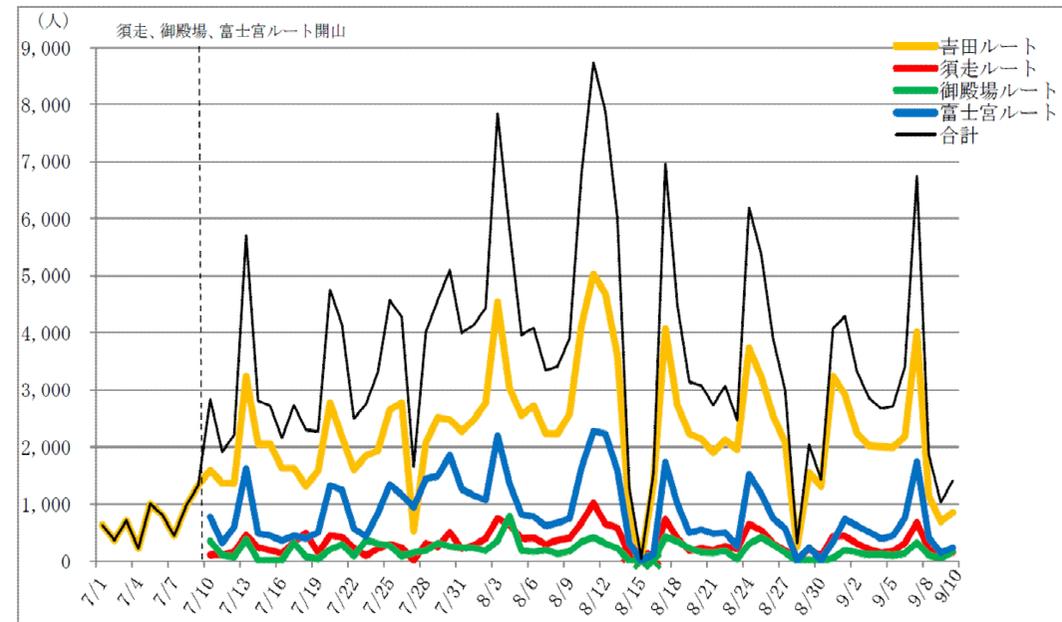
### 3 各登山道における日別登山者数（参考）

H29



※8/7～8 台風による荒天の影響で登山者数が大幅に減少

R1

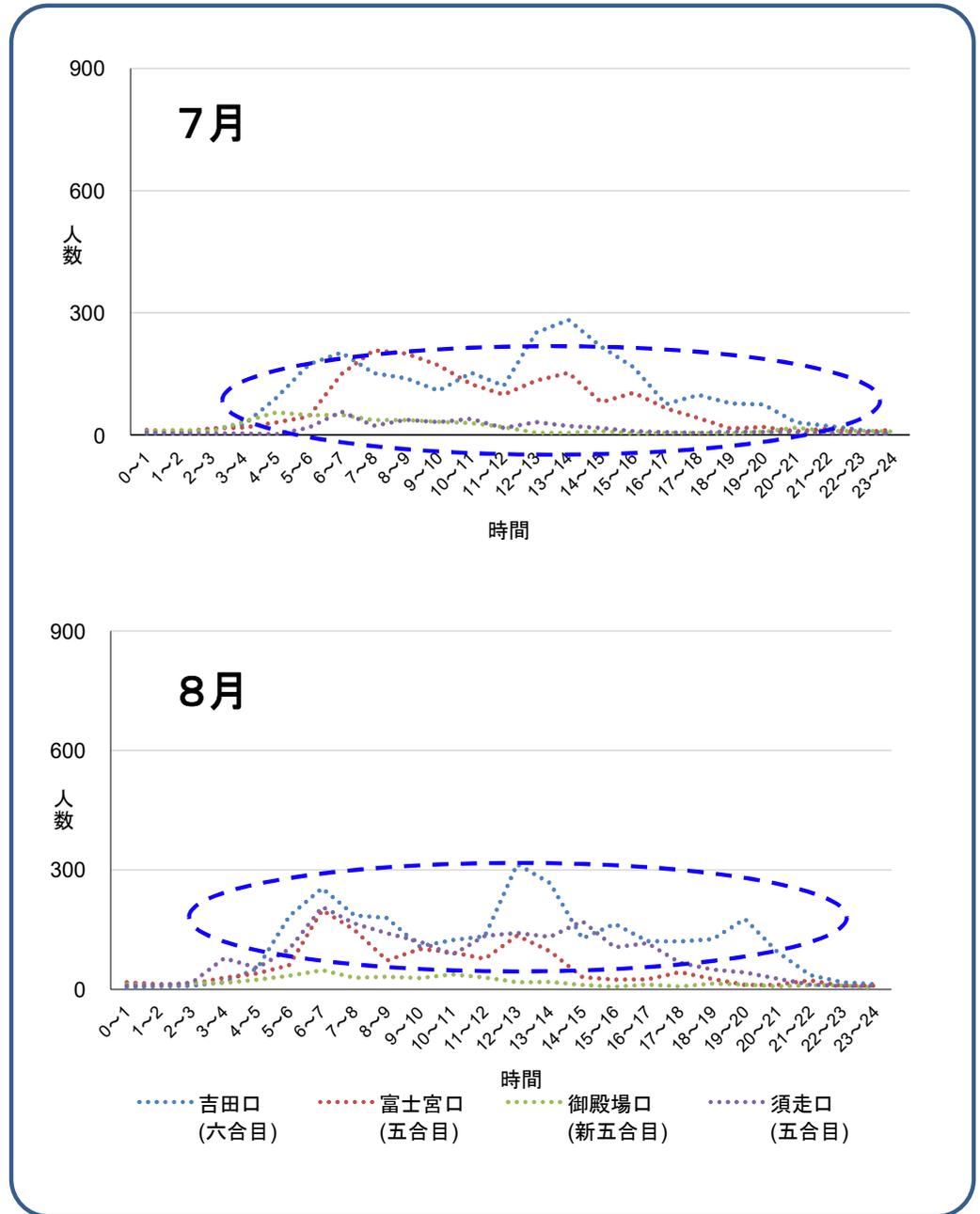
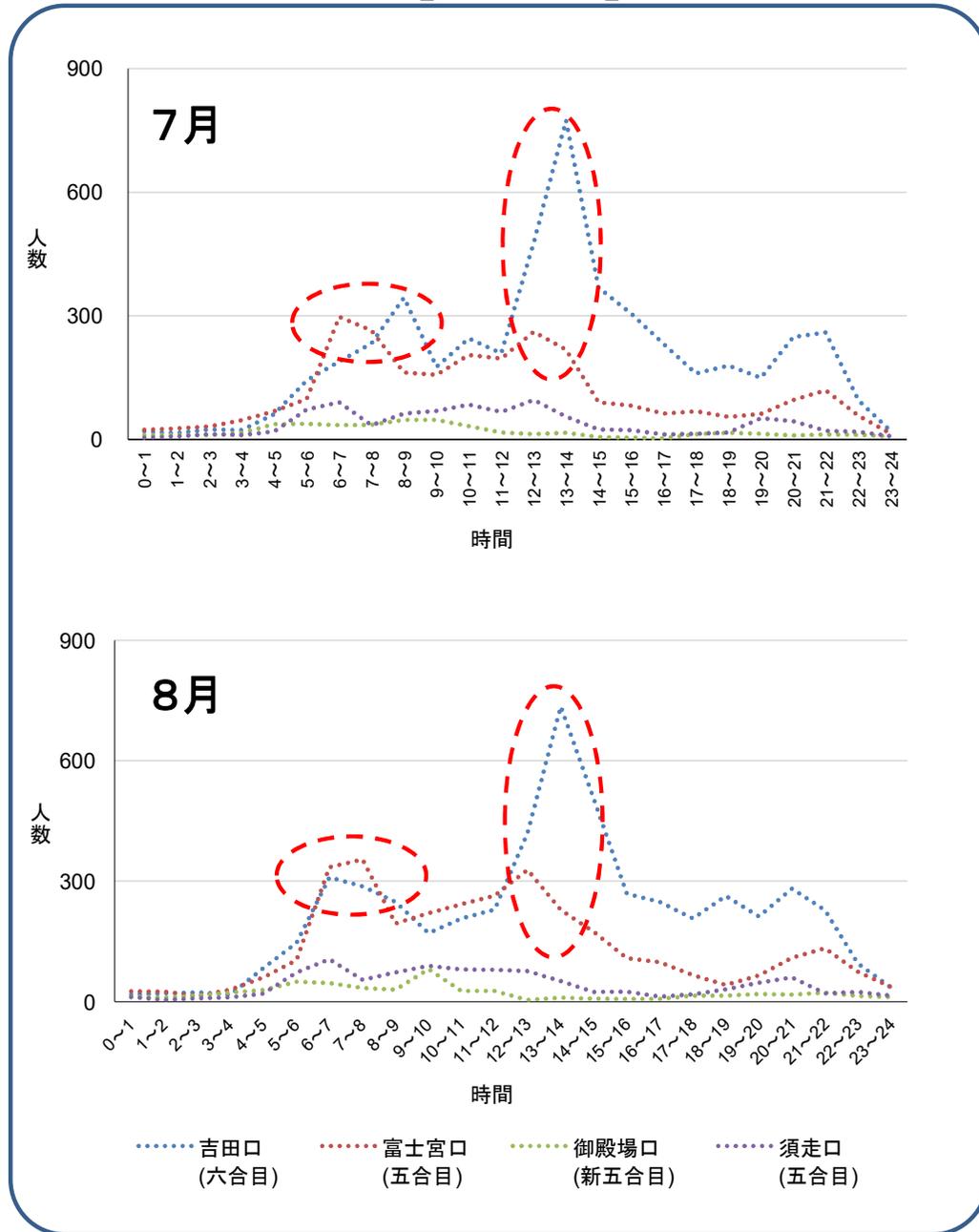


※7/27, 8/14, 15, 16, 28, 9/9 荒天の影響で登山者数が大幅に減少

# 4 時間帯別の登山者数（日平均※）① 実数

【H26～R1】

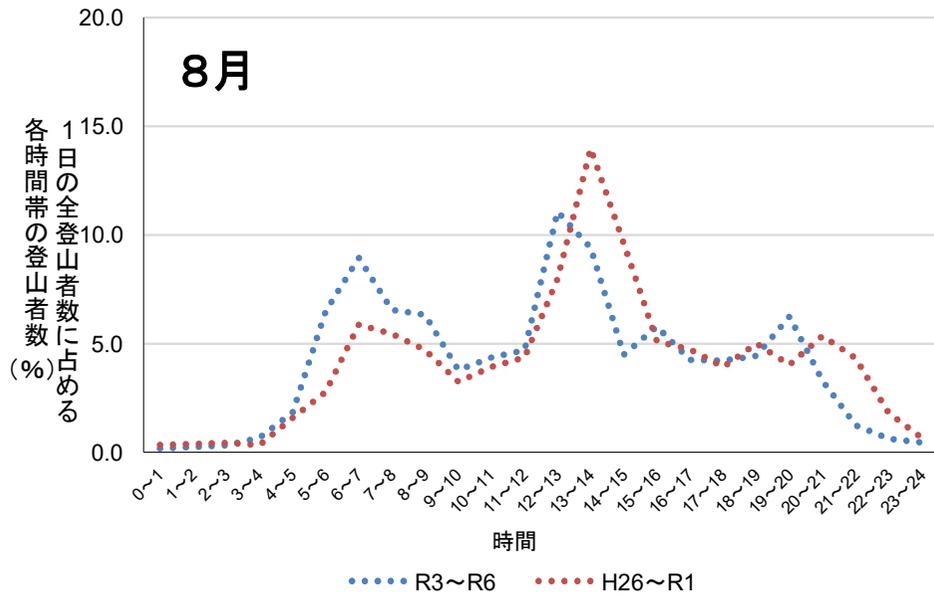
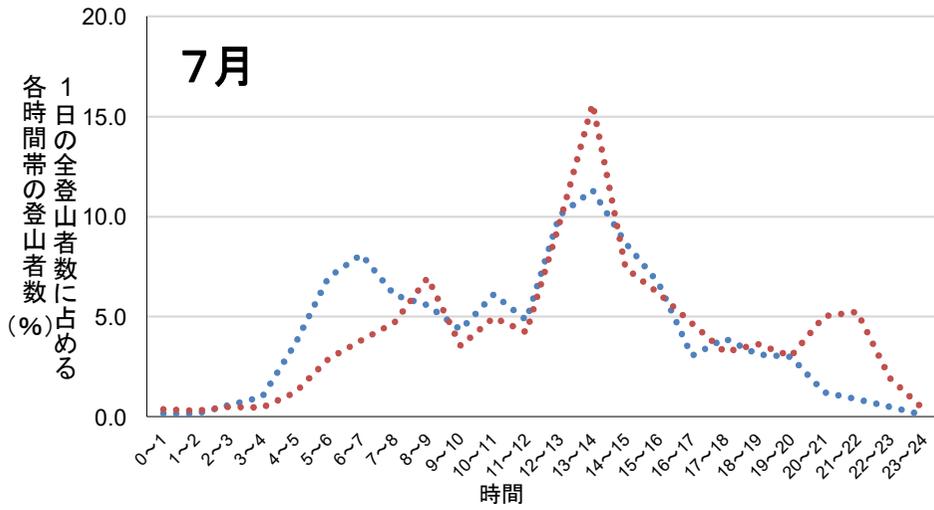
【R3～R6】



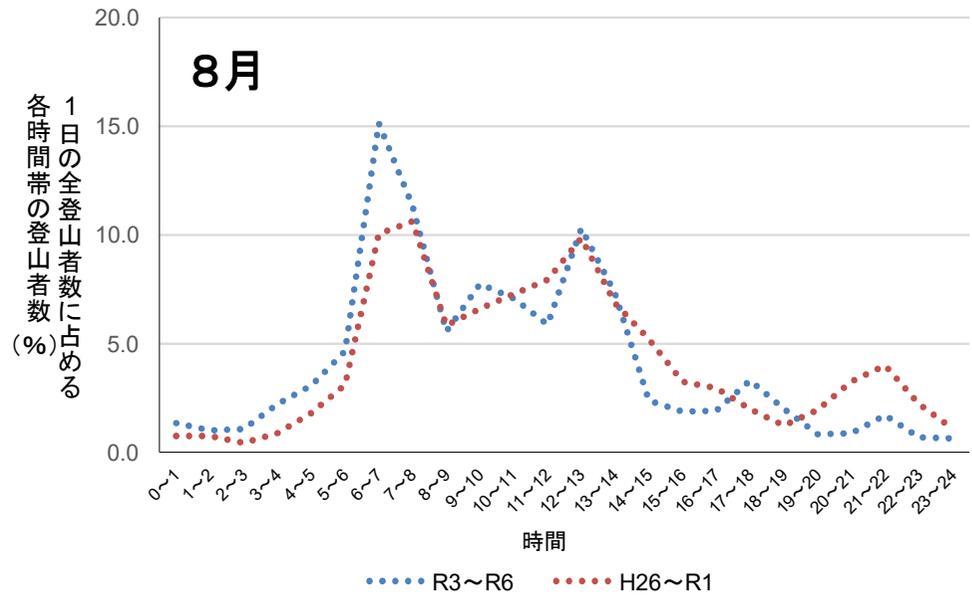
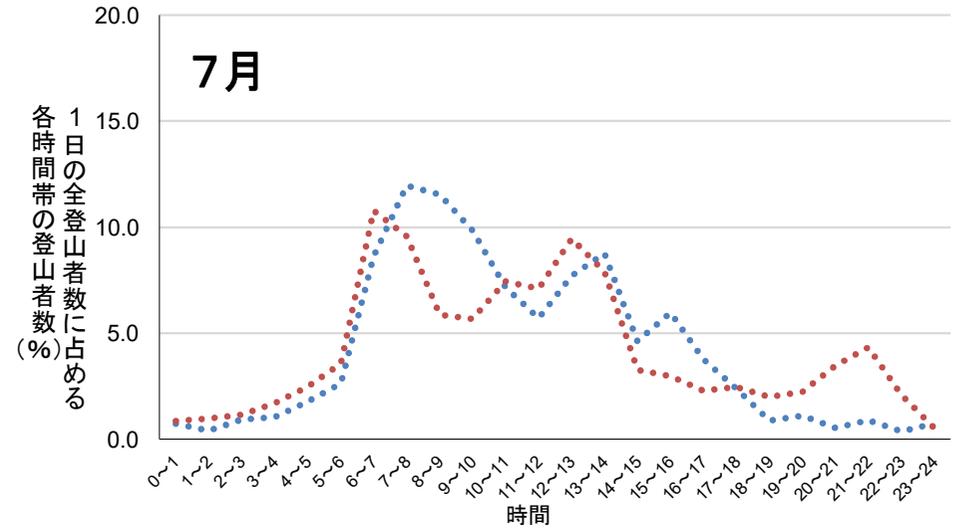
※各月の第2、3、4土曜日から1日抽出して期間内の日平均を算出

## 4 時間帯別の登山者数（日平均※）② 割合

### 吉田口登山道



### 富士宮口登山道



※各月の第2、3、4土曜日から1日抽出して期間内の日平均を算出

## 5 遭難救助の発生状況

### ◆静岡県

(静岡県警察からの情報提供を基に作成)

区分	発生人数	態様						
		うち死亡	道迷い	転倒	病気	疲労	滑落	その他
2024年	64	6	8	27	18	3	0	8
2023年	70	2	10	18	26	12	1	3
増減	△6	+4	△2	+9	△8	△9	△1	+5

### ◆山梨県

区分	救急搬送件数 (登山者)	死者数
2024年	27件	3人
2023年	46件	2人
増減	△19件	+1人
前年比	△41.3%	+50%

# 今夏の主な取組

## 1 登山者の安全対策・マナー啓発

### ◆令和6年度に実施した登山者安全確保のための新たな対策について

両 県	弾丸登山防止チラシのウェブ掲載に加え、X(旧twitter)での発信回数を拡大、旅行業者などを通じて周知を実施	
山 梨 県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉田口登山道五合目においてゲートを設置し、時間及び登山者数により規制を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 時間 16時～3時(ゲートを閉鎖し通行を制限)※</li> <li>(2) 登山者数 4,000人/日(1日の登山者数が4,000人を超える場合ゲートを閉鎖)※</li> <li>(3) 使用料 2,000円(1人2,000円の使用料を徴収)</li> </ul> </li> <li>※いずれの規制も山小屋宿泊者を除く</li> <li>・富士登山適正化指導員による山中における危険行為やマナー違反者等に対する指導</li> <li>・登山規制や通行料徴収に伴う混乱・トラブルの回避と登山者の利便性向上のため、通行予約システムを導入</li> <li>・噴石落石から身を守るために下山道にシェルターを整備するための現地調査及び詳細設計を実施</li> <li>・麓からの登山を普及をさせるため吉田口登山道や富士講・御師文化などの調査研究に着手</li> </ul>	
静 岡 県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県富士登山事前登録システムを導入 全ての登山者に富士登山に関するルール・マナーの事前学習を徹底すると同時に、登山ルートや登山日時、山小屋宿泊の有無を事前登録することにより、安全な登山計画の策定を促進</li> <li>・昨年に引き続き、例年週末やお盆期間を中心に富士宮口に配置している安全誘導員を平日にも追加配置</li> <li>・遭難事故防止啓発動画(日・英・繁・簡・韓・越版)を作成し、YouTubeのインストリーム広告及びバンパー広告を実施</li> <li>・民間企業が運営するWebサイト「イマフジ。」と連携した気象情報の発信</li> <li>・「静岡県安全快適な富士登山推進会議」の開催 中長期的な方針と来年へ向けた具体的な対策の両面を検討するため、山小屋関係者、交通事業者、登山ガイド、浅間大社、国、市町、警察等が参加テーマごとに分科会を設置</li> </ul>	 

### ◆登下山道の安全対策の取組【継続】

- ・富士宮口山頂付近のマナー啓発(拡充)、混雑緩和・情報収集、吉田・須走合流地点より上方の登山者の安全確保
- ・登下山道において、日中、富士山レンジャーが巡回し、マナー啓発等を実施(混雑期(お盆時期)は夜間にも拡大)(山梨県)
- ※吉田口登山道における安全登山巡回員の増員:混雑が予想される週末、山頂～八合目の範囲に巡回指導員2名を追加配置

### ◆混雑回避(登山者の平準化)の働きかけ【継続】

- ・「混雑予想カレンダー」を遺産協議会HPや富士登山オフィシャルサイト、「安全登山周知のためのパンフレット」(静岡県)等へ掲載
- ・混雑平準化のための従来動画『富士登山のススメ』を遺産協議会HP、富士登山オフィシャルサイト等へ掲載
- ・検索広告(Google)やYouTube動画広告、Instagram、WABITABIを活用し上記の広報を実施



弾丸登山防止啓発チラシ

## 2 マイカー規制の状況

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6	R6マイカー規制期間
吉田口 (富士スバルライン)	53日間	53日間	63日間	53日間	63日間	43日間	48日間	59日間	68日間	7.5～9.10
富士宮口 (富士山スカイライン)	63日間	65日間	63日間	7.10～9.10						
須走口 (ふじあざみライン)	47日間	63日間	63日間	63日間	63日間	63日間	48日間	51日間	63日間	7.10～9.10

区分	乗り換え場所	乗換え時間帯			
			始発	最終	運行間隔
吉田口 (富士スバルライン)	富士北麓駐車場 (富士山パーキング)	登山	平日 5:00 土日 3:30	17:30	30分
		下山	4:30	18:30	30分
富士宮口 (富士山スカイライン)	水ヶ塚駐車場	登山	6:00	18:00	60分
		下山	7:00	19:00	60分
須走口 (ふじあざみライン)	「道の駅すばしり」横 乗換え駐車場	登山	平日 5:30 土日 5:15	18:00	60分
		下山	6:00	平日 18:45 土日 19:45	60分

### 3 混雑回避(登山者の平準化)の取り組みについて

富士山世界文化遺産協議会では、毎年度、混雑予想カレンダー・混雑情報等動画を制作し、遺産協議会HP・富士登山オフィシャルサイト・YouTube等に掲載し周知することで、登山者の平準化に取り組んでいる。  
 (GoogleやYoutube等のWeb広告を活用し、富士登山に興味がある人をサイトに誘導し、広く周知している。)

遺産協議会HP(日・英)



混雑予想カレンダー(日・英)



混雑情報等動画(日・英)



**2024年 富士登山の注意点**  
 山小屋宿泊を伴わない夜間の登山はやめてください

**静岡県側 (富士宮・御殿場・須走ルート)**

- 登山前に** 登山マナー・ルール of 事前学習を必ずお願いします  
 事前学習は 静岡県富士登山事前登録システムから

**山梨県側 (吉田ルート)**

- 五合目 登山口で** 登山者数 4,000人で 通行規制  
 午後4時から翌午前3時まで 通行規制  
 通行料 2,000円

○バナー広告等を掲出することにより混雑カレンダー・動画を掲載したHPへ誘導する広報を実施

○R6年6月上旬から閉山日(9/10)までの約3か月間

- ・日本語版混雑情報等動画: 約3,500回再生
- ・英語版混雑情報等動画 : 約31万回再生 ※YouTube広告を実施

### 3 混雑回避(登山者の平準化)の取り組みについて

#### <事業効果について>

#### ○来訪者管理モニタリング結果をもとにした分析

- ・混雑予想カレンダーまたは混雑情報動画を「両方見た」または「いずれか見た」人の割合

R 4	R 5	R 6
34.0%	36.5%	29.9%

【参考】R6年富士山登山者数 204,316人  
 $204,316 \times 29.9\% = \text{約6万人}$ の登山者が、混雑カレンダー  
 または混雑動画を見たと推測される

- ・混雑カレンダー・混雑情報動画を見たと回答した人のうち、「予定を変更した」人の割合

R 4	R 5	R 6
13.9%	10.7%	9.4%

【参考】R6年度に6万人の登山者が混雑カレンダー・混雑情報  
 動画を見たとすると、そのうち $60,000 \times 9.4\% = \text{約5.6千人}$   
 の登山者が予定を変更したと推測される

- ・予定を変更したと回答した人の、変更内容とその割合(複数回答可)

区 分	R 4	R 5	R 6
登山日	75.0%	71.7%	62.2%
登山時間	28.1%	41.5%	32.4%
登山道	9.4%	22.6%	13.5%

【参考】R6年度に5.6千人の登山者が予定を変更したとすると、  
 各項目での予定変更者数は、登山日 約3.5千人、登山時間 約1.8千人、登山道 約0.8千人と推測される

#### 【まとめ】

- ・アンケート回答者の約3割程度が混雑カレンダー・混雑動画を見た  
 と回答、そのうち1割程度が予定を変更  
 →混雑情報の発信事業は一定の成果。入山管理を含めた登山者の行動変化をうながす取組について、さらに検討が必要
- ・外国人への浸透・効果については今後、分析が必要

# 現行指標・水準を達成するための取組の評価・検証について(速報値)

望ましい富士登山の在り方		指標	登山口	実績			水準 (2024年 までの 目標値)	これまでに実施した取組	評価・検証
視点	区分			2022	2023	2024 (速報値)			
十七世紀以来の登拝に起源する登山の文化的伝統の継承	頂上付近で御来光を拝む場合には、途中の山小屋で宿泊・休憩していること	伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休憩してから山頂で御来光を拝む登山者の割合	全体	88.8%	87.6%	96.4%	80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>山小屋で休息し山頂を目指す啓発を含む動画による広報</li> <li>山梨県の条例制定や、静岡県県の「静岡県富士登山事前登録システム」導入による、午後4時以降の山小屋宿泊を伴わない登山の抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画期間を通じて改善傾向</li> <li>新型コロナウイルス感染症流行以降の、山小屋の完全予約制導入や、各県の入山管理に関する取組が寄与したと考えられる</li> <li>在日・訪日外国人へ向けた広報も注力する必要がある</li> <li>引き続き入山管理について検討を進める</li> </ul>
	特定された山麓の巡礼路・登山道からの登山が行われていること	古くからの巡礼路としてルートが特定されている吉田口登山道における山麓からの登山者の割合	吉田	7.5%	9.6%	11.8%	15%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓からの登拝啓発を含む動画による広報</li> <li>馬返からの伝統的な登山の神聖さをPR</li> <li>中の茶屋(休憩所)のおもてなしを周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれも計画期間を通じて横ばい傾向。</li> <li>伝統的な登山ルートならではの魅力が伝わるよう「山麓の神社・霊地等とのつながり」とともに啓発を強化していく必要がある。</li> </ul>
	山麓の神社・霊地等と登山道とのつながりが認知・理解されていること	山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合	全体	42.5%	38.6%	38.7%	50%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓や五合目施設等での神社・湖を巡る伝統的な巡拝の啓発を含む動画による広報</li> <li>世界遺産巡りガイドマップ(日・英版)の配布</li> </ul>	
		富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合	全体	86.6%	88.2%	88.8%	90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食・ゴミのマナー啓発</li> <li>御庭、奥庭、御中道の散策ガイダンス促進</li> </ul>	
登山道及び山頂付近の良好な展望景観の維持	浸食・植生等の変化による展望景観への影響が抑制されていること	五合目以上における登山道の浸食や植生等の変化による展望景観の変化	全体	なし	なし	なし	負の影響が予見又は確認されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山道の巡視と維持管理</li> <li>富士山レンジャー等による啓発活動を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度より水準を達成しており、現状の取り組みを継続していく必要がある</li> </ul>
登山の安全性・快適性の確保	登山装備・登山マナー等が理解されていること	登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合	全体	14.0%	29.0%	20.4%	15%以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>Twitter等による呼び掛け</li> <li>安全誘導員や富士山レンジャー等の巡視強化</li> <li>売店・山小屋の協力による注意喚起</li> <li>お盆等の混雑日における外国人へ周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報弱者(外国人など)へのマナー周知を、きめ細やかに実施していく必要がある</li> </ul>
	過剰な登山者数による混雑・危険・不満を感じない登山ができること	山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者の割合	全体	12.6%	13.9%	13.5%	15%以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>保全協力金を利用したトイレの改善 (※山小屋とトイレの不満を感じた割合のうち、不満度が高い方の数値を記載)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協力金を活用したバイオトイレの整備や、コロナ期に山小屋の個室化を行った結果、衛生面で不満を感じる登山者は減少傾向にある</li> </ul>
		夏山期間を通じて著しい混雑が発生する登山者数/日*を超えた日数 *吉田口:4,000人/日 富士宮口:2,000人/日	吉田 富士宮	0日 0日	0日 0日	0日 0日	3日以下 2日以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>混雑動画の作成(R元～)</li> <li>混雑予想カレンダーの更新(H29～)</li> <li>カレンダーや動画のHP・SNS掲載による混雑日の日程変更促進</li> <li>「山梨県富士山における登山の適正化に関する条例」の制定に伴う登山者数の制限(R6～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画期間を通じて水準を達成している</li> <li>混雑カレンダー・動画を見て、混雑を回避する登山計画を立てる者も一定数おり、入山管理の状況と合わせて取組の継続を検討していく必要がある</li> </ul>

# 富士山保全協力金の受入状況

## 1 山梨県

区分		H30(7/1~9/10)		R1(7/1~9/10)		R3(7/1~9/10)		R4(7/1~9/10)		R5(7/1~9/10)		R6(7/1~9/10)	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
現地	吉田口	84,548	84,022,637	96,281	95,992,532	35,183	35,106,023	66,379	66,278,322	101,554	101,417,726	42,596	42,559,790
	小計	84,548	84,022,637	96,281	95,992,532	35,183	35,106,023	66,379	66,278,322	101,554	101,417,726	42,596	42,559,790
インターネット等	インターネット	78	78,000	114	114,000	62	62,000	78	78,000	111	111,000	16,485	16,485,000
	コンビニ	128	128,000	217	217,000	39	39,000	157	157,000	159	159,000	44	44,000
	県庁受付	3,702	3,566,284	4,196	4,042,039	180	180,000	1,834	1,834,000	1,985	1,985,000	1,832	1,832,000
	小計	3,908	3,772,284	4,527	4,373,039	281	281,000	2,069	2,069,000	2,255	2,255,000	18,361	18,361,000
合計		88,456	87,794,921	100,808	100,365,571	35,464	35,387,023	68,448	68,347,322	103,809	103,672,726	60,957	60,920,790
協力率		58.6%		67.2%		65.2%		72.8%		75.6%		53.1%	

## 2 静岡県

区分		H30(7/10~9/10)		R1(7/10~9/10)		R3(7/10~9/10)		R4(7/10~9/10)		R5(7/10~9/10)		R6(7/10~9/10)	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
現地	富士宮口	36,112	35,805,895	35,168	35,050,561	12,984	12,891,464	22,672	22,511,606	36,686	36,575,427	36,830	36,783,299
	御殿場口	4,141	4,021,764	4,695	4,577,436	4,829	4,775,517	5,463	5,149,346	7,725	7,648,156	8,715	8,706,332
	須走口	15,689	15,510,289	16,401	16,541,515	4,602	4,472,740	8,385	8,207,510	15,972	15,981,871	17,086	17,087,168
	小計	55,942	55,337,948	56,264	56,169,512	22,415	22,139,721	36,520	35,868,462	60,383	60,205,454	62,631	62,576,799
インターネット等	インターネット	148	148,000	205	205,000	0	0	102	102,000	174	174,000	2,862	2,862,000
	コンビニ	123	123,000	202	202,000	23	23,000	32	32,000	210	210,000	77	77,000
	県庁受付	944	944,000	1,067	935,000	229	229,000	1,260	1,076,000	1,036	717,000	892	892,000
	小計	1,215	1,215,000	1,474	1,342,000	252	252,000	1,394	1,211,000	1,420	1,101,000	3,831	3,831,000
合計		57,157	56,552,948	57,738	57,511,512	22,667	22,391,721	37,914	37,078,462	61,803	61,306,454	66,462	66,407,799
協力率		— *		67.4%		— *		57.3%		73.5%		74.3%	

\*平成30年度および令和3年度の協力率は、カウンターの不具合による登山者数の欠測期間が発生したため算定不能